

10月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川: 左右岸 15.0km~21.0km 管轄出張所: 岡崎・安城出張所
実施日	令和 4 年 10 月 10 日	実施区間	15.0km ~21.0km (左岸)

先回より水量は低下

中州もくつきり

4回目になる10月のモニタリングは、安城市桜井町の小川橋付近(14km地点)から、左岸に入り、上流に進みました。担当箇所21km地点まで、初めて上りました。車で行ける道が少なく、相当苦労しました。

先月と比べると、矢作川の水量は少し減ったようで、ところどころに中州がありました(①)。



①水量はやや低下で、中州出現(16Km付近)

地域事情を反映か？

河川敷グラウンドの利用状況

この区間の地域の矢作川は、左岸の岡崎市側では住宅がかなり多く、反対側・右岸の安城市側は、畑など農業が盛んな地域です。

視察日が「スポーツの日」だったせいか、左岸河川敷のグラウンドの利用者が多く、駐車場は車でいっぱいでした(②)。河川敷のグラウンドは、地域の人にとって欠くことができない施設になっているようです。

河川水だけでなく、河川敷も岡崎、安城両市民の大切な生活・環境資源になっていることを再認識しました。



②「スポーツの日」で駐車場満車

残念な投棄ゴミ、またも

残念なこともありました。左岸のこの区間は、利用者が多いだけではありません。7月時のモニタリングでも、あったのですが、投棄ゴミが少し目立ちます。今回は、食べ物関係だけでなく、家財道具の簡易タンスなど、明らかに運び込んで投棄したと思われるものまでありました(③④)。心無い人は少数だと思いますが、極めて残念です。猛省を求めたいです。



③残念！簡易タンスの投棄も(19.6Km付近)



④心無いポイ捨て続く(16Km付近)